

診療所だより

たいせつなこと

マニラ日本人会付属診療所 菊地 宏久

大切なことは何なのでしょう。コロナ禍において私たちの生活や社会状況は激変しています。これまでにフィリピンでは37万6000人以上が新型コロナウイルスに感染し、7千100人以上が亡くなりました。日本では感染者が10万人を超え、亡くなられた方も1700人以上となり専門家は警戒を呼び掛けています。ヨーロッパでは第2波流行により患者や死亡者が急増し再度の外出禁止令やロックダウンを發した国も出ています。米国では依然として毎日5万人以上の患者報告がなされています。そして世界全体では4千400万人以上が感染し、117万人以上の大切な命が奪われています。大切な命が数字の塊となって刻まれていきますが、その中には一人ひとりのかけがえのない命が内在しています。(数字はフィリピン厚生省・日本厚生労働省・WHO資料、2020年10月30日現在)。

一方、世界中の多くの研究者がより良い検査方法や治療薬を開発するため、日夜勤しんでいます。ワクチン臨床試験はすでに最終段階の第3相試験に入っているものもあります。有効な治療薬が開発され、ワクチン接種が平等に世界中で施行される日が一日も早く来ることが期待されています。

2020年3月中旬からマニラ首都圏では新型コロナウイルス感染症流行阻止を目的にロックダウンが始まりました。当マニラ日本人会付属診療所はビル23階に在りますが、入居しているビル管

理規程上の問題や防疫強化措置等による制限のため通常の診療が困難な状態が続いています。これに対し、ロックダウン直後から「無料電話相談」、そして「慢性疾患患者さんへの処方箋発行」を行ってきました。そして10月からは感染予防策を徹底させながら、「一般健康診断」、「ワクチン接種」などを行っています。厳しい規制のもと、以前と同じように患者さんに対応できるまでには至っていませんが、みなさんの健康を守るため、スタッフとともども感染防御を徹底し、日々体制を整えております。

新型コロナウイルス感染予防において大切なことは「適切なマスク着用」、「十分な手洗い」、そして「3密の回避」であることはみなさんも十分ご存知だと思います。しかし、人混みの中で買い物をしなければならないこともあるでしょう。友人とマスクなしで長時間の会話に夢中になってしまうこともあるかもしれません。感染の機会は多々あると思いますが、自分自身で予防可能な行動をとることはクラスターを作らないためにもとても大切です。自分を守ることは他の人を守ります。そして皆さんの大切な家族や友人を守ります。このことが世界中の人々の命を守ることにもつながっていきます。

今この時も、新型コロナウイルス感染症で入院中の方、この病気の後遺症で悩んでいる方、外出を控えている方、仕事・会社が大変と毎日頑張って働いている方もおられるでしょう。

この疾患の流行により私たちの生活や社会状況は激変してしまいました。閉鎖環境の中で、強いストレスの下、生活をされている方もたくさんおられると思います。皆さんの命を大切になさってください。

最後になりましたが一編の詩を紹介します。

＜忘れないで＞
あなたがいるから
あなたが大切だから
あなたの命を守りたくて
生きている人がいるということを
忘れないで

Atsuko Kikuchi

みなさん、どこにおられても、いつも健康に留意して命を大切に
なさってください。